

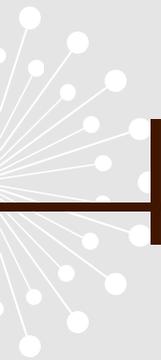


2019

トレンドマイクロ
CSRレポート

※本紙は以下のWebサイトに記載の英語版レポートを日本市場向けに参考翻訳したものになります。

https://www.trendmicro.com/en_us/about/corporate-social-responsibility.html



INDEX

01

トレンドマイクロについて

マネジメント	5
コーポレートガバナンス	7
社外からの評価	9
ソリューション	10

04

お客様

情報セキュリティ環境の強化	27
サービス	28
コミュニケーションチャネル	30

レポートについて

02

サステナブルな開発

倫理規定とビジネス慣行ガイドライン	13
リスクマネジメント	13
サステナブルな開発目標	19

05

グローバル シチズンシップ プログラム

社会活動	33
子どもと保護者向けセキュリティ教育	37
地域に根差した活動	39
サイバー犯罪の撲滅に向けて	40

代表取締役からの メッセージ

03

社員

透明性のある採用手続き	20
健全な労働環境	22
社内コミュニケーション	23
学習と成長	24

06

Appendix

レポートについて

トレンドマイクロは創業以来、社会の発展を促進しながら、サステナブルな経営を行い、倫理原則を遵守し、企業として株主様に最大限の価値を生み出すべく高水準を維持してきました。本レポートでは、トレンドマイクロが企業の社会的責任を果たす意義を説明するだけでなく、株主様に当社の投資価値を示したいと考えています。当社はまた、社会発展も推進しています。

レポートのパラメーターと制限

本レポートは、2018年6月1日から2019年5月31日までの日本、北米、中南米、ヨーロッパ、およびアジア太平洋地域を対象にしています。ここに記載されている財務情報は、すべて2018年1月1日から2018年12月31日までのものです。

トレンドマイクロへのお問い合わせ

本レポートに関するご提案やコメントは、トレンドマイクロまでお送りください。

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿マインズタワー

大代表 TEL:03-5334-3600

www.trendmicro.com

レポート基準

本レポートは、経済状態、環境保護、社会的責任に関するトレンドマイクロのコーポレートガバナンスについて情報を共有するもので、Global Reporting Initiativeが策定したGRIスタンダードに準拠しています。

レポート作成の原則

本レポートは、サステナビリティの課題に対応し長期的運営を改善するため、重要性、包括性、対応性、およびインパクトの原則を含むAA1000(AccountAbility)を遵守しています。これを読んでいただければ、トレンドマイクロが企業の社会的責任(CSR)の原則に従っている否か、明確に判断していただけます。本レポートは、主要なCSR問題に対処するため、Global Reporting Initiative(GRI)の第4版に規定されている構造と基準に基づいています。また、経営状態、環境保護、社会的責任に関するトレンドマイクロのコーポレートガバナンスについても説明しています。

レポート発行

本レポートは2019年12月に発行しました。トレンドマイクロは、環境保護を目的として本レポートをウェブサイトのみにて公開しています。

代表取締役からの メッセージ

代表取締役挨拶

トレンドマイクロは、自由で安全な情報交換を可能にするグローバルな環境づくりを常に目指しています。1988年創業以来、トレンドマイクロが提唱するセキュリティアプローチの方程式 $X=I$ (ITインフラの移行にいち早く備える) $+U$ (ユーザー行動の変化を受け入れる) $-T$ (さまざまな脅威に適応する保護を提供)により、常に新しい脅威を予測し、プロアクティブに対応してきました。近年、トレンドマイクロは情報セキュリティをクラウドに取り入れ、今や世代を超えたサイバーセキュリティ企業に様変わりしました。昨年、トレンドマイクロは2兆件を超えるセキュリティ問題を解決し、40億個以上の脅威を防御しました。今後は、さらに大きく飛躍することになるでしょう。

ONE VISION - ひとつのビジョンがつながる世界の安全を守る -

人工知能とIoTの出現により、データ分析だけでなく、私たちの生活を保護するために必要な手段も劇的に変化しました。サイバーセキュリティソリューションは、サイロ化された情報を取り壊し、ONE VISIONとして、異なる分野の情報を共有し、組織の垣根を越える必要があります。クラウドやネットワーク、エンドポイントデバイスから収集された分析情報は、ネットワークの安全性が明確にわかるよう適切に提示されれば、お客様にとって有意義なものとなります。トレンドマイクロは、お客様が情報セキュリティのフレームワークを開発することを支援し、適切なタイミングで脅威に対応します。トレンドマイクロは、「ONE VISION」、つまりひとつのビジョンで、脅威の全体を可視化することで、お客様および社会全体を保護します。

トレンドマイクロの強みを活用して、より安全な世界を実現

トレンドマイクロは、良き企業市民としての責任を担うべくグローバル シチズンシップ プログラムを計画しました。子どもとその保護者へのセキュリティ教育支援や東日本大震災の復興支援、フィリピンの恵まれない環境にいる人々のための家屋の建設支援、寄付金支援など、さまざまな取り組みを推進しています。また、サイバー犯罪の撲滅に向けた取り組みも行っています。テキサス、バンクーバー、日本、台湾にいるトレンドマイクロの社員が思いやりの気持ちを広めて、この世界がより良くなるよう努めてきました。今日、トレンドマイクロの4分の1の社員が、チャリティー活動の「Give and Match Program」に参加しています。これまで、150万人を超える子供たちと家族がセキュリティ教育プログラムに参加しました。900人以上のトレンドマイクロのボランティアが、世界中の人々を支援しています。59カ所から740を超えるチームがトレンドマイクロが主催する「hackathons」に参加しました。トレンドマイクロは、つながる世界をより良くするための活動に取り組んでいます。

この先の10年間に向けて

30年にわたる知恵と経験を蓄積した今、トレンドマイクロは引き続きONE VISIONを掲げ、サイバーセキュリティを推進してまいります。サステナブルな運営と情報セキュリティ分野での成長を維持するほか、社会により良い影響を与えていきます。トレンドマイクロは、6,500人以上の従業員を擁し、グローバルなセキュリティリーダーとしての誇りを常に持ち続けています。

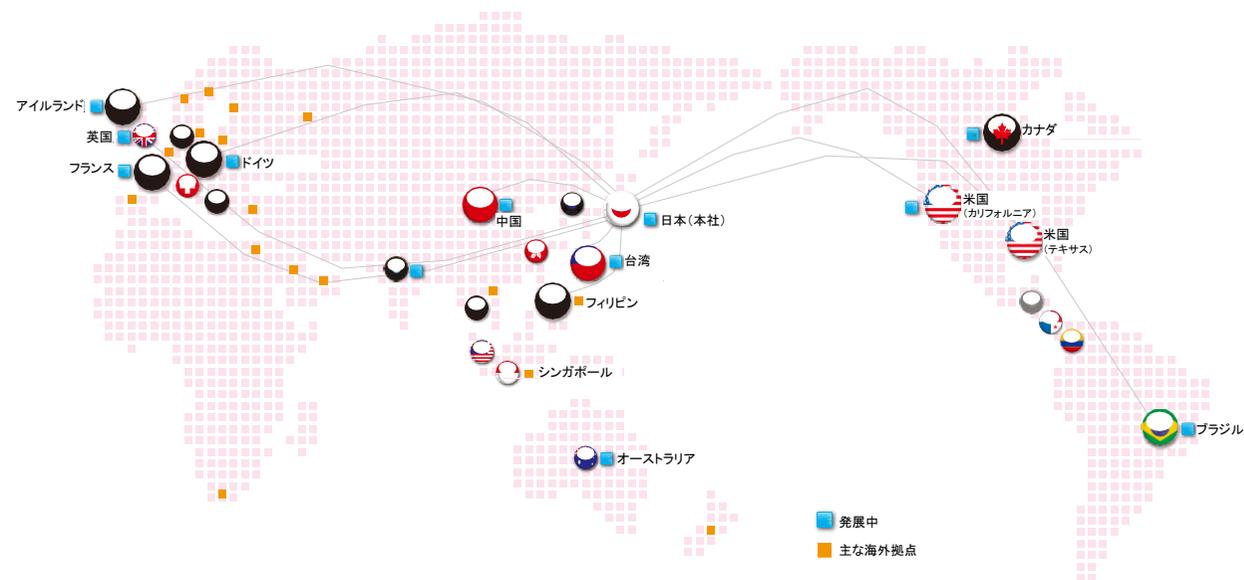
代表取締役社長 グループCEO
エバ・チェン



トレンドマイクロについて

トレンドマイクロは、サイバーセキュリティのグローバルリーダーとして、企業と個人といった垣根なく、デジタルインフォメーションを安全に交換できる世界の実現に注力してまいりました。1988年に米国：カリフォルニアで創業し、今やトレンドマイクロの社員は国境を問わず、世界中に在籍しています。全世界のオフィス(米国、日本、ドイツ、台湾、フィリピン、インドを含む)に6,500人以上の社員を抱えるトレンドマイクロは、安全で親しみやすい環境の維持に尽力してまいりました。また、継続的なイノベーションによって業界のリーダーとしての地位を維持し続け、株主の皆様のご期待に応えるよう努めています。

創業	1988年(米国)
本社	日本(東京)
従業員	6,854名
上場取引所	東京証券取引所(4704)
連結売上高	1,651億9,500万円 (2019年12月31日付)



部門	場所
本社	日本
販売	日本、米国、カナダ、アイルランド、台湾、アラブ首長国連邦、オーストラリア、シンガポール、韓国、香港、ブラジル、メキシコ 他
財務	日本
マーケティング	米国
研究開発	日本、米国、アイルランド、オーストラリア、カナダ、台湾、中国
ウイルス解析・サポートセンター	フィリピン
技術サポート	フィリピン
情報システム	台湾
人事	台湾

マネジメント

1988年以来、トレンドマイクロはサイバーセキュリティビジネスに専門特化することで主要なグローバル企業に成長しました。

当社グループは3CiTという明確なコアバリューを定義しています。これらのコアバリューは、経営陣によってただ繰り返し唱えられるような、社内会議室の壁に貼られるポスターで提示するだけの表面的なものではなく、当社グループの経営における全ての戦略的アクション、運営ポリシー、そして経営判断を導く実践的なスローガンとなっています。

Vision
 デジタルインフォメーションを安全に交換できる世界の実現

Mission
 お客様のデジタルライフやITインフラを脅威から守る

ブランドビジョンと哲学

現在、テクノロジーはかつてないほど知識の共有を容易にし、あらゆる人に対して学習し、成長し、成功するという限りないチャンスを与えています。トレンドマイクロは、デジタルインフォメーションを安全に交換できる世界の実現というビジョンを追求し、家庭とビジネスをセキュリティの脅威から守り、安全なオンライン環境を醸成することで、全人類への利益を追求します。

Vision: デジタルインフォメーションを安全に交換できる世界の実現

デジタル情報を交換することは、知識の共有を可能にし、相互理解を深め、平等な学習機会を確保します。トレンドマイクロは誰もがデジタル情報を自由かつ安全に交換できるよう、ネットワークを守ることで世界を向上させていくという主幹となる目標を持っています。

Mission: お客様のデジタルライフやITインフラを脅威から守る

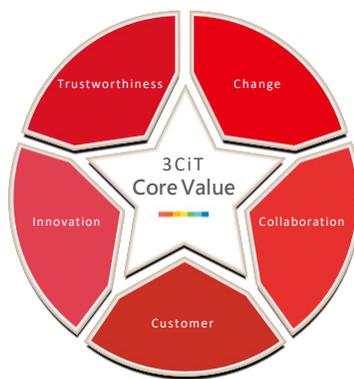
次々に登場する新しいIT環境には、常に脅威やリスクが伴うものです。これらの脅威から、お客様のデジタルライフや企業活動、そして社会を守る。それが、トレンドマイクロの使命です。スレット ディフェンス エキスパートとして、最適なソリューションを提供します。

3CiTコアバリュー

トレンドマイクロの企業文化における中核“3CiT”は5つのコアバリューから構成されています。

時代や市場の変化による様々なステージで確かな価値を打ち出す場合においても、当社は常に持続可能な企業価値の向上に従事し、責務を全ういたします。近年では、モバイルプラットフォームやクラウドコンピューティングの登場したことによる影響とリスクのもと、当社の変革とイノベーションの真価が問われました。

また、当社はコラボレーションと信頼性なくして先見性あるイノベーションは生まれないと確信しています。デジタル環境の急進的な変化は、常に新しい脅威や新しいタイプのサイバー攻撃を生み出します。当社はその責務において、最新のサイバー攻撃に対応した新しいソリューションの創造に注力しています。



- **Change** — 変化をチャンスと捉え、変化のリーダーとなる。
- **Collaboration** — コラボレーションから生まれる知性こそ全体像を見る唯一の手段であることを認識し、常にエコシステムの構築を推進する。
- **Customer** — 情熱を持って行動する。顧客に真の利益を提供する。
- **Innovation** — 失敗を恐れず、社会に新しい価値を創造する。
- **Trustworthiness** — ノーエゴ、あるがままでいること。誠実で首尾一貫していること。

事業運営

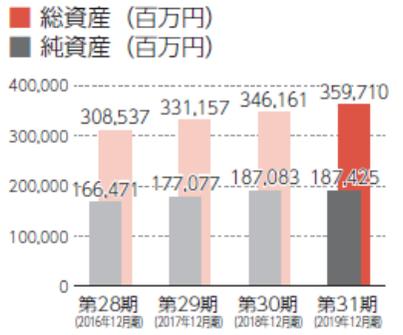
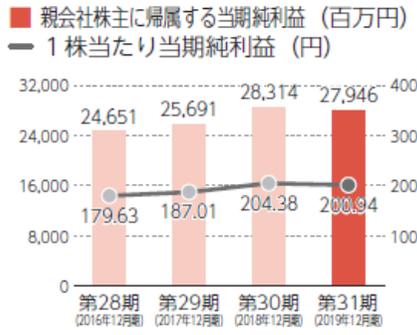
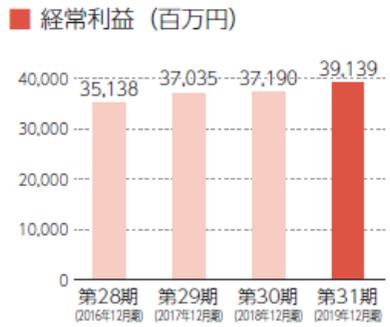
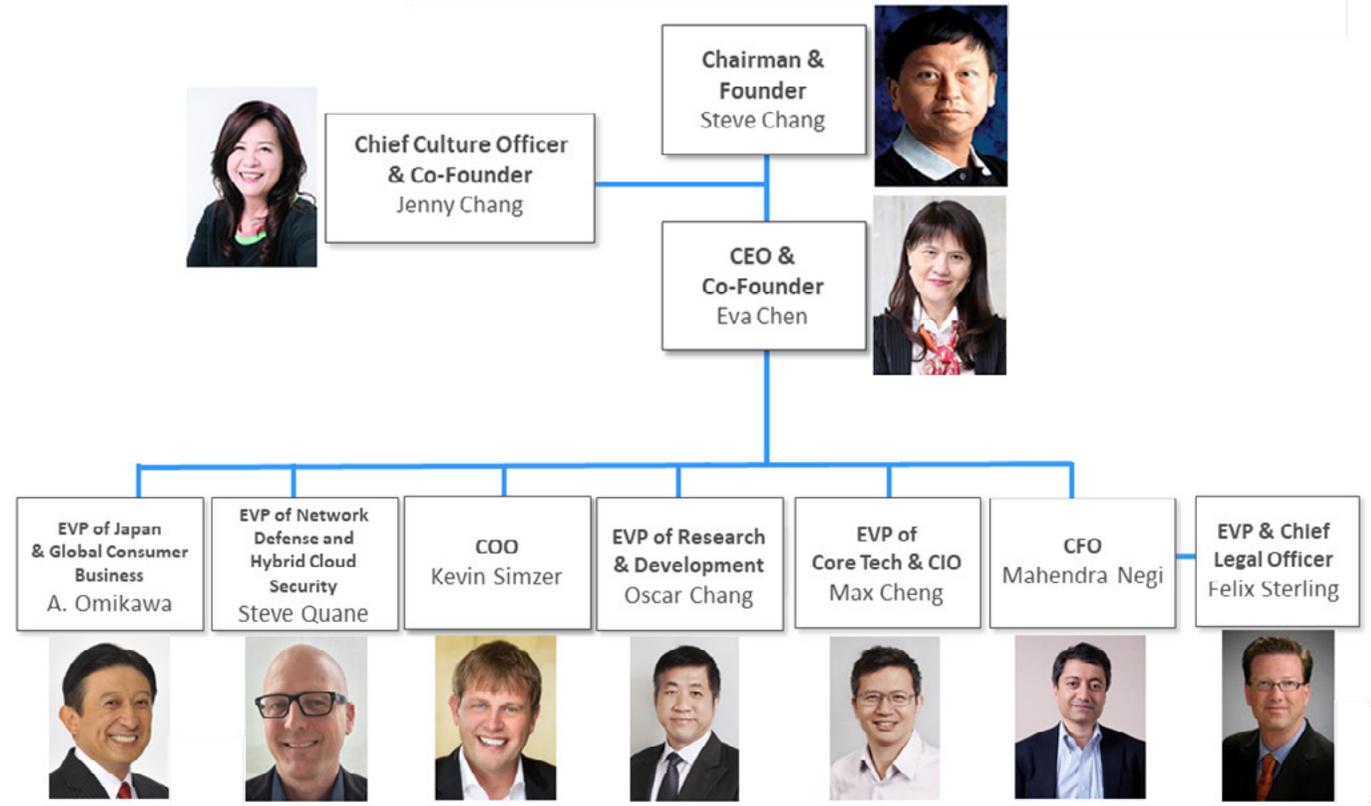
トレンドマイクロは現在、世界中の企業、家庭、また個人向けにソリューションを提供しています。当社の販売収益は近年着実に成長しております。

直近4年間のトレンドマイクロの業績(単位:百万円)

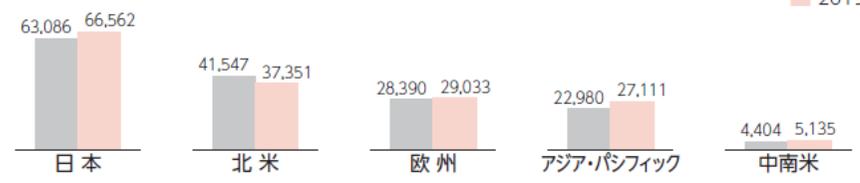
項目	年度	第 28 期 2016年12月期	第 29 期 2017年12月期	第 30 期 2018年12月期	第 31 期 2019年12月期
売上高 (百万円)		131,936	148,811	160,410	165,195
経常利益 (百万円)		35,138	37,035	37,190	39,139
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)		24,651	25,691	28,314	27,946
1株当たり当期純利益 (円)		179.63	187.01	204.38	200.94
総資産 (注) (百万円)		308,537	331,157	346,161	359,710
純資産 (百万円)		166,471	177,077	187,083	187,425

コーポレートガバナンス

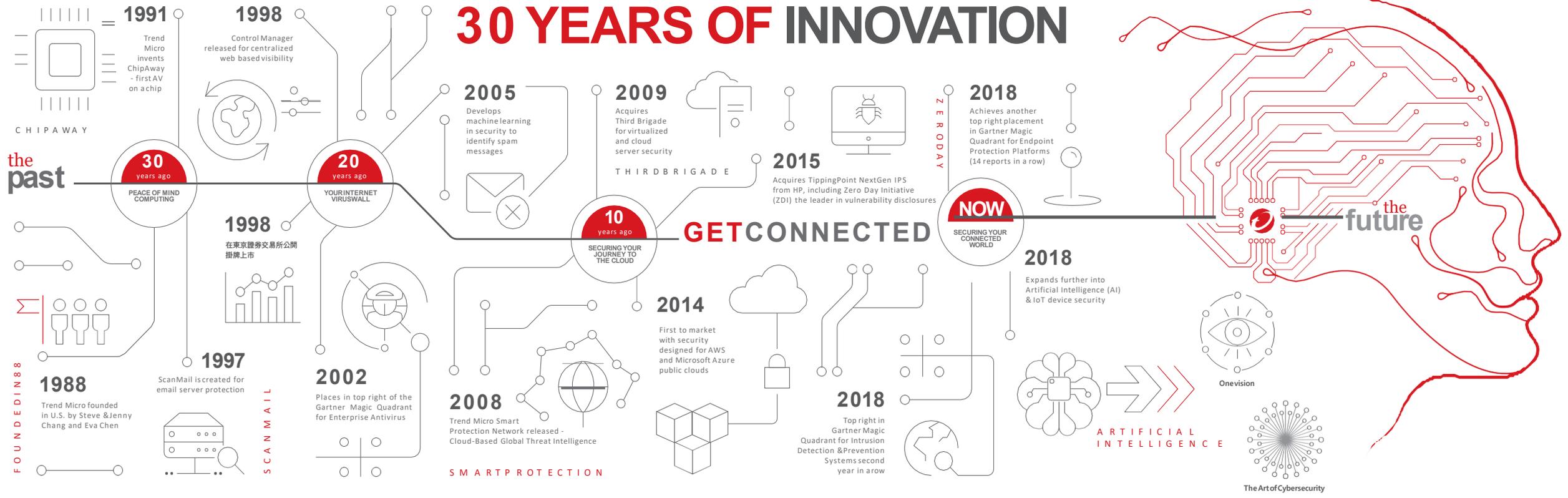
[詳細を確認する](#)



地域別売上高の推移 (単位: 百万円)



30 YEARS OF INNOVATION



社外からの評価



クラウドワークロードセキュリティ製品において「リーダー」に位置付け

トレンドマイクロは、The Forrester Wave™: Cloud Workload Security, Q4 2019 レポートにおいて、製品および戦略カテゴリで最高のスコアを獲得し、「リーダー」に選ばれました

The Forrester Wave™: Cloud Workload Security, Q4 2019
by Andras Cser with Merritt Maxim, Matthew Flug, and Peggy Dostie



NSS Labs 次世代侵入防止システム(NGIPS)テスト「推奨」評価を3年連続 獲得

TippingPoint Threat Protection System™は、3年連続で効果的な推奨ソリューションと評価されました。

NSS Labsが2018年9月に実施したテストの結果レポート
(原文タイトル"NEXT GENERATION INTRUSION PREVENTION SYSTEM (NGIPS) TEST REPORT")



NSS Labs 侵害検知テスト「推奨」評価を5年連続 獲得

Deep Discovery™ Inspectorは、5年連続で効果的な推奨ソリューションと評価されました。これはDeep Discovery Inspectorが高度化する標的型攻撃に対抗するために、有効な製品であることを証明しています。

NSS Labsが2018年10月に実施したテストの結果レポート
(原文タイトル"BREACH DETECTION SYSTEMS TEST REPORT")



クラウドセキュリティワークロード 市場シェアNo.1※

トレンドマイクロは、IDC の調査でクラウドセキュリティワークロード製品で最も高いシェア※を占めています。



IDC, Worldwide Software Defined Compute Workload Security Market Shares, 2019 (DOC #US45638919, November 2019)



GfK Japan 2018年 パソコン用ソフト/セキュリティ 量販店メーカー別販売数量シェア No.1

「パソコン用ソフト」から「セキュリティ」を抽出。2018年(1-12月)全国有力家電量販店の販売実績集計/GfK Japan調べ



12年連続セキュリティソフト販売本数 NO.1

全国主要家電量販店等のPOS実売統計で年間(1~12月)販売本数第1位のベンダーを表彰するBCN AWARDのセキュリティソフト部門において、トレンドマイクロがBCN AWARD 2009~2020の12年連続で最優秀賞を受賞

[詳細を確認する](#)

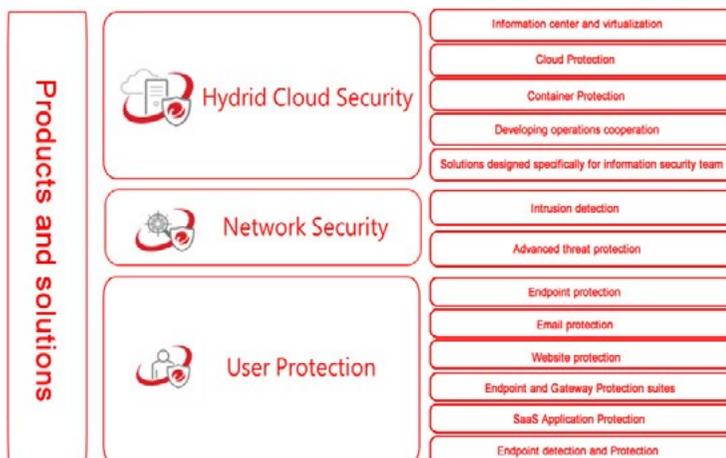
ソリューション

多くの組織は、様々なセキュリティ製品を導入することで、ますます高度化する攻撃から組織を守ろうとします。しかし、複数のセキュリティ製品の管理はコストと時間のかかる複雑なタスクになりかねません。

Connected Threat Defenseは、組織のネットワーク、エンドポイント、ハイブリッド型のクラウド環境を全方位で可視化します。この多層的なセキュリティアプローチにより、脅威を効果的に防止、検出して対応できるようになります。

Connected Threat Defenseには、トレンドマイクロのセキュリティソリューションであるUser Protection、Network Defense、およびHybrid Cloud Securityが利用されています。世界中から収集されたスレッドインテリジェンスと統合管理製品であるTrend Micro Control Managerを用いた可視化と対応によって、すべてのソリューションが連携して機能します。

最小限の影響で
最大のセキュリティ



[詳細を確認する](#)

Hybrid Cloud Security

ハイブリッドクラウドセキュリティは、物理環境、仮想環境、クラウド環境、およびコンテナ環境におけるセキュリティ管理を簡素化し、可視性を向上させます。

この総合的なソリューションで、マルチレベル情報セキュリティをコントロールすることができます。

柔軟性	シームレスな統合	自動対応
様々なクラウドに最適化されたトレンドマイクロのソリューションはお客様の柔軟なプラットフォームの選択を支援します。	クラウドネイティブの環境に適したセキュリティは、お客様のクラウド利用やユーザー体験を損ないません。	導入と検出が自動化され、運用工数の軽減を支援します。運用効率とコンプライアンスの促進につながります。

[詳細を確認する](#)

Network Defense

企業は、止むことのないITの進化、モノのインターネット（IoT）と産業用IoTの出現、クラウドへの移行に伴くセキュリティの課題に直面しています。人材が不足し、複数の防御策において一元的な可視性と関連性が欠けていることも加わり、次の大きな脅威に備えることが難しくなっています。トレンドマイクロの Network Defenseは、次世代IPSを超えるXGenセキュリティを活用することで、複数の世代の技法を組み合わせたソリューションを提供し、適切なタイミングで適切なテクノロジーを適用し、ゼロデイ攻撃を始め、さまざまな脆弱性の脅威に対する統合された検出と防御を実現します。 [詳細を確認する](#)

User Protection

組織にとって従業員がセキュリティのリスクとなることがあります。従業員は自分が望む場所と方法で仕事をしたいと考えているからです。企業の情報資産をセキュリティリスクから遠ざけ、安全性を確保するにはどうすればよいでしょうか。トレンドマイクロのXGenセキュリティは、ファイルレスマルウェア、標的型サイバー攻撃、そしてWannaCryのようなランサムウェアとその亜種といった今日の変化し続ける脅威から従業員を守ります。従業員が利用する多様なデバイス、アプリケーション、サービスを複数のレイヤー（エンドポイント、メール、WebおよびSaaSアプリケーション）において保護します。 [詳細を確認する](#)

家庭用製品

トレンドマイクロは、ハッキングや悪意ある変更を検出して防止する、包括的なソリューションを提供しています。

[詳細を確認する](#)

消費者向け製品



ウイルスバスター クラウド

高い防御力と軽さを両立しながら、使いやすさと安心のサポートを提供するセキュリティソフトです。



ウイルスバスター モバイル

不正アプリや危険なWebサイトからスマホ/タブレットを守る総合セキュリティ対策アプリです。



ウイルスバスター クラウド + デジタルライフサポート プレミアム

ウイルスバスター クラウドに24時間365日のパソコン、インターネット、ソフトウェア、プリンタ、スマートフォンなどの操作・設定サポートが付いた製品です。



パスワードマネージャー

あなたに代わってID/パスワードを安全に記憶するパスワード管理ツールです。



フリーWi-Fiプロテクション

ホテルやカフェ、海外などの旅行先でWi-Fi利用時の通信を暗号化し保護するスマホ・タブレット向けアプリです。



ウイルスバスター for Mac 1年1台版

日本を狙ったセキュリティ脅威への対応など、高い防御力と安心のサポートであなたのMacを守るセキュリティソフトです。



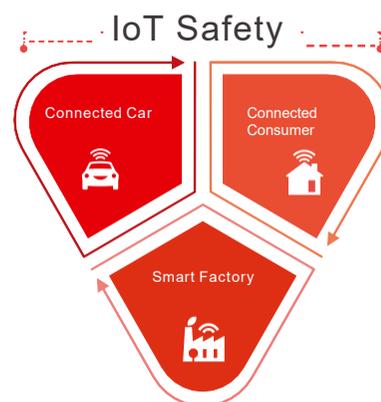
ウイルスバスター for Home Network

ご家庭のネットワークに接続する機器を外部からの攻撃や有害サイトへのアクセスから防御するホームネットワークセキュリティです。

IoT セキュリティ

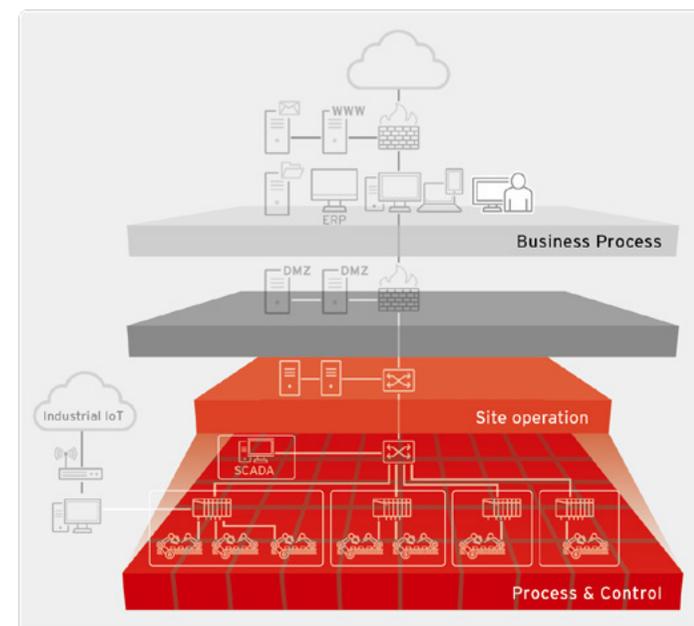
IoT時代の到来は、インターネットのデータ量を劇的に増加させました。今や攻撃者は、家電製品、自動車システム、製造工場、医療機器などを狙っており、その対策としてトレンドマイクロの能力と技術力が求められています。そこでトレンドマイクロは、コネクテッドカー、コンシューマのIoT、[スマートファクトリー](#)に焦点をあてています。お客様は、ネットワークセキュリティアーキテクチャと実践的な行動指針をより深く理解していただく必要があります。

トレンドマイクロの新しいXGenテクノロジーが、ONE VISIONの考えをもとにデータを意味のあるものへ変化させます。



スマートマニュファクチャリング、スマートシティ、スマートエネルギーシステムなどのIIoT環境のセキュリティニーズをさらに重視するため、トレンドマイクロとMoxalは2018年11月にTXOne Networksと呼ばれる合併会社を設立しました。トレンドマイクロはITチャンネルパートナーに関する強みを、MoxalはOTチャンネルパートナーに関する強みを組み合わせることで、ビジネスモデルと地域ターゲットを強化します。

TXOne Networksは、ICSファイアウォール、ICS IPS、エンドポイントロックダウン、マルウェア対策スキャナなどのOT環境向けのサイバーセキュリティ製品を総合的に構築し、産業用制御システム(ICS)の世界を保護するプロアクティブでタイムリーな実装が容易なソリューションを提供します。



▲トレンドマイクロは、工場の稼働を維持するために3つのポイントから保護します。

[詳細を確認する](#)

サステナブルな開発



情報セキュリティは、持続可能な社会の発展において主要な関心事となりました。トレンドマイクロは情報セキュリティの第一線としての役割を担うことこそが責務であり、その責務はお客様へのサービスの枠を超え、社会貢献にまでおよぶと考えています。当社は、当社が実績を誇る知見を結集し、より良い形でお客様を守ることで、サイバーセキュリティを芸術の域に昇華しようと試みています。

また、トレンドマイクロは社員のために優れた職場環境をつくり、お客様のニーズに応えようと努力することで、社会を改善することを目指しています。当社は社員、お客様、そして世界全体がお互いに有益である状態を達成しようと取り組んでいます。

倫理規定とビジネス慣行ガイドライン

トレンドマイクロは、世界に点在する中枢部門を保有し、国際的に事業を展開しています。国やビジネス環境には、それぞれ異なる規制、慣習、倫理ガイドラインがあります。当社の社員は明確な倫理規定に従い、利益相反を公に開示しなければなりません。当社の役員、管理職、および社員はすべて、就業する場所に関係なく、この規定によってビジネス慣行における言動の許容基準を理解しています。すべての社員は、次の規則に従うものとします。

- ・ **会社情報開示:** トレンドマイクロの社員はすべて、自身がアクセスできる情報のクリアランスレベルを理解し、開示または他者から受け取ることのできる情報の種類を知っている。社員は、誤った情報を提供したり、他人を誤解させたりしてはならないものとする。

- ・ **プライバシー:** 役員を含むすべての社員は、機密保持契約を遵守しなければならない。
- ・ **社員は、会社に損害を与える可能性のある情報を開示することはできない。**
- ・ **利益相反:** 相反の可能性がある場合、さらなる対応がとられる前に理事会が承認しなければならない。
- ・ **フェアトレード:** トレンドマイクロは、市場での優位性を得るための不公正な取引慣行、非倫理的な行為、または違法な慣行を禁止する。
- ・ **会社資産の保護と合理的利用:** すべての資産は、合法的かつ合理的なビジネス慣行にのみ利用できる。
- ・ **法規制の遵守:** どの部門でも、適用法を遵守するのに十分な情報が周知されている。
- ・ **報告する責任:** 行動規範に違反した社員は、内容に応じて制裁を受けることとする。何者かが法を犯した場合、トレンドマイクロは、さらなる対応を求めて関係当局へ連絡する。[詳細を確認する](#)

リスクマネジメント

トレンドマイクロはお客様とステークホルダーを守るため、綿密な査定を通じて通常の業務オペレーションにおいて発生することが考えられるリスクを調査・把握しています。

リスクカテゴリー	潜在的リスクとそれに伴う影響
組織的戦略	合併・買収時のコスト上昇と収益性の低下、単体ビジネスへの過度の依存、不適切な事業成長管理、戦略的提携からの予想外に低いリターン。
市場競争	インターネットセキュリティ市場に参入する他企業との競合、販売及び市場占有率に影響を与える製品の陳腐化。

サプライチェーンマネジメント	ハードウェア製品の製造および在庫リスク、製品リコール、販売店によるトレンドマイクロ製品売り込みの失敗、トレンドマイクロの業績に影響するほど厳しい財政状態にある販売店。
人材マネジメント	人事の損失や変更。中でも管理職とスタッフの離職。
財務	株価の不安定化、為替相場の損失、金融市場のボラティリティによる損失へと至る、四半期決算における変動。
法務	知的財産権の侵害、予期しない規制上の問題。
情報セキュリティ	ハッカーの攻撃による運用の中断、風評被害、内部情報セキュリティリスク。
その他	発注のキャンセルまたは遅延、エネルギー不足、地震、戦争、自然災害。

トレンドマイクロは、組織の運営に影響を及ぼす可能性のある要因を軽減するべく、リスクと損失を管理するシステムを構築しています。

- 製品やサービス、インフラや業務に関連するリスクを特定し、そのリスクを軽減するための仕組みを構築しています。また、これらのリスクを管理する責任者を設置しています。
- 取締役を委員長とする「コンプライアンス・セキュリティ委員会」を設置し、法令遵守とリスク管理体制を統括しています。
- 情報の漏洩、盗難、紛失、破損、不正改ざんなどは、組織の信用を著しく毀損する可能性があるため、情報管理体制、リスク管理方針、個人情報保護方針を策定しています。
- 取締役会を中心としたSWATチームを設置し、重大なリスクに対処し、会社と顧客への影響を軽減しています。

トレンドマイクロでは、信用リスク、市場リスク、流動性リスクを厳格に評価・管理しています。

信用リスク管理: トレンドマイクロは、クライアントの財務状況を定期的に監視して、潜在的な損失から保護します。

- 市場リスク管理(為替レートと金利の変動): トレンドマイクロは、証券取引や為替レートが会社に与える影響にともなって発生するリスクを軽減するために、ガイドラインを用意しています。
- 流動性リスク管理: トレンドマイクロは、支払い向けのキャッシュフローを確保するための現金管理計画を用意しています。

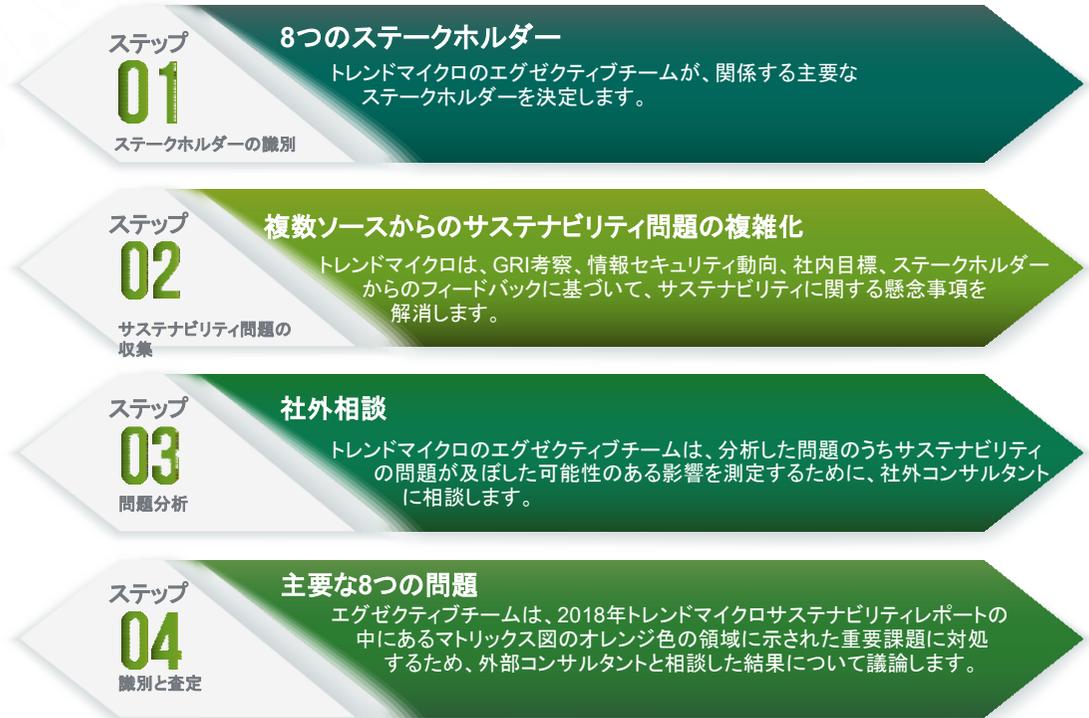


ステークホルダーと重要課題への対応

安定したサステナブルな業界におけるIT会社として、トレンドマイクロは隔年で重要課題に取り組み、ステークホルダーを識別しています。今ご覧になっているレポートの結果は、2018年に行われた分析の中の問題管理方針に応じて出されたものです。

ステークホルダーとのコミュニケーションおよびステークホルダーの定義

トレンドマイクロは、多様な情報セキュリティサービスを提供して、変化し続ける技術環境を保護しています。当社のステークホルダーの見解を正確に理解するため慎重に分析し熟考した結果、エグゼクティブチームはステークホルダーを8つのカテゴリーに分類しました。社員、クライアント、投資家、ビジネスパートナー、政府、地域社会、メディア、NGOおよび非営利団体です。



ステークホルダーとのコミュニケーション

トレンドマイクロは明瞭なコミュニケーションチャネルを通じてステークホルダーから意見やアイデアを伺い、企業活動に反映しています。

当社は全社ミーティング、メール、ブログ、電話、会議、講義、インタビュー、またメディアへの声明を通じてステークホルダーとコミュニケーションをとることにより、継続的に企業計画の改善を図っています。



ステークホルダー コミュニケーションチャネル		意義と意味
社員	全社ビジネスミーティング(ハイコム)	トレンドマイクロは社員とその家族を重要な資産と位置付けています。経営と社員は対等な関係であり、フラットな組織を目指しています。
	各種トレーニング	
	年次グローバルキックオフ	
	オープンオフィス	
クライアント	メール・オンラインツール	トレンドマイクロは、お客様のニーズに合った新製品開発を手掛ける際、お客様のお話を伺い、コミュニケーションを通じて共有価値を生み出すことで共に開発に取り組むことを目指しています。
	訪問	
	電話	
	ミーティングもしくはセミナー	
投資家	投資家面談(通年)	トレンドマイクロにとって、ステークホルダー並びに投資家の意見は非常に重要であり、年間を通じてIR取材によるダイレクトコミュニケーションに尽力しています。
	四半期決算開示 (IRサイト、メール配信)	
	適時開示情報 (IRサイト、メール配信)	

政府	フォーラムもしくは議論(適宜)	規制変更に対応するには、継続的な計画があります。トレンドマイクロは、変更のあった要項を満たして会社のビジョンを実現するために、全体的な設計図をつくります。
パートナー	プロジェクトの更新(適宜、対面会議)	トレンドマイクロは、デジタル情報を交換するのに安全な世界をつくりだすため、新たなビジネスチャンスを発見しより優れた製品やサービスを共同で開発するパートナーを積極的に求めています。
	プロジェクトの更新(適宜、電子メールと通知)	
	新製品およびサービス(適宜、対面会議)	
	新製品およびサービス(適宜、電子メールとウェブでお知らせ)	
	フィードバック(適宜、対面会議)	
	フィードバック(適宜、アンケートと電子メール)	
	トレーニング(適宜、対面セッション)	
トレーニング(適宜、WebExを使ったオンラインでのセッション)		

コミュニティ	日本フェンシング協会へのスポンサーシップ、その他の地域や団体への社会貢献活動	トレンドマイクロは、情報セキュリティのグローバルリーダーとして社会的責任を果たす一方、より安全にデジタル情報を交換ができる世界の実現を目指しています。
メディア	プレスリリース	トレンドマイクロは価値のある情報をメディアを通じて、社会へ発信します。
	記者向け発表会やセミナー、取材	
NGO もしくは NPO	企業のスポンサーシップ、サポート、その他の活動に関する議論(適宜)	「テクノロジーと人文科学を融合して新たな美しい世界を創造する」というビジョンにあるように、トレンドマイクロはNGOやNPOと協力しています。

重要課題の特定

このレポートの重要課題は、2018年のレポートで報告された結果に基づいています。外部コンサルタントは、GRIの方法論に従い、セキュリティ動向、当社の年間目標、ステークホルダーからのフィードバックを受けて、このレポートの重要課題をまとめました。トレンドマイクロのエグゼクティブチームは、このまとめられた課題を優先し、最終的に以下のようにマトリクス図を確定しました。

重要課題のマトリクス図



重要課題の相関

重要課題	検討事項	組織内	組織外のステークホルダー						対応する章
			投資家	お客様	パートナー	政府	地域コミュニティ	NGOもしくはNPO	
業界人材育成	事業課題	●				●		●	05 グローバル シチズンシップ プログラム — 大学向けサイバーセキュリティ教育、CEU 03 社員 AIの波:「人」が重要: 2018年AIコンテスト
製品サービスと顧客関係	事業課題	●		●	●				04 お客様
健康と生活のバランス	事業課題	●							03 社員 — 充実した労働環境
キャリアアトレトレーニングと成長	研修・教育	●							03 社員 — トレンダターの学習と成長
知的財産保護	事業課題	●	●	●	●			●	04 お客様 — 情報セキュリティ環境の強化
インターネット情報の安全性	間接的な経済的影響	●	●	●	●	●	●	●	04 お客様 — 情報セキュリティ環境の強化
企業収益	景気動向	●	●	●	●				01トレンドマイクロについて — 財務運営

サステナブルな開発目標

2015年9月25日、国連から「我々の世界を変革する：サステナブルな開発のための2030アジェンダ」が発表されました。これには17のサステナブルな開発目標と169の具体的なターゲットが含まれ、その後15年間、すべての国、企業、世界市民に対してサステナブルな開発目標(SDGs)を設定しています。この資料を確認して、トレンドマイクロでは重点的に取り組む4つの目標を定め、活動します。



目標	トレンドマイクロの対応	対応する章
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>トレンドマイクロは、その中核となる「情報保護」能力を効果的に活用するために、さまざまなチャネルを通じて情報セキュリティの知識を社会に普及させることを約束します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・03 社員 —トレンドマイクロの教育トレーニング構造 ・05 グローバル シチズンシップ プログラム — インターネットの安全性と情報セキュリティについての教育
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>トレンドマイクロは、従業員の働きがいと成長、パートナー企業とおお客様の成長を促進し、サステナビリティと包括的な経済成長を優先します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・01トレンドマイクロについて — 業績
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>トレンドマイクロは、情報セキュリティを中核能力として、お客様に最先端の保護を提供します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 04 お客様
 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p>トレンドマイクロは、グローバルな法執行機関やその他のパートナーとの協力を通して、情報セキュリティを強化し、促進し、持続させます。当社はまた、この重要な知識を世界中の人と共有するために、グローバル シチズンシップ プログラムを通じてセキュリティ教育を促進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・05 グローバル シチズンシップ プログラム — 中小企業ネットワーク安全計画 ・05 グローバル シチズンシップ プログラム — サイバー犯罪との闘い

社員



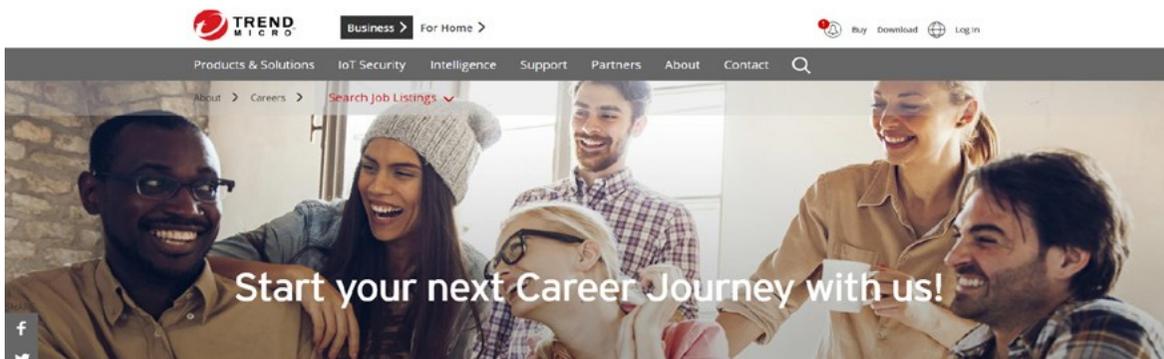
トレンドマイクロにとって、社員は最も重要な資産です。多様性と多文化労働力は、当社が世界で成功を収めている重要な要素になっています。「Enjoy Work, Enjoy Life(仕事を楽しみ、人生を楽しむ)」という理念が、優れた職場環境を生み出すきっかけとなりました。トレンドマイクロは、「多様性の受け入れ+コラボレーション=成功」という核心的信念に基づいて、社員に包括的な福利厚生方針を提供しています。さらに、社員が仕事で最大限の可能性を発揮し、当社と共に成長できるよう、幅広いトレーニングを提供しています。

[詳細を確認する](#)



透明性のある採用手続き

トレンドマイクロは、世界中で優秀な人材を募集し、多様性を追求しています。人種、民族、国籍、性別、性同一性、性的指向、身体能力、年齢、宗教、退役軍人か否か、社会経済的背景、政治的指向に関係なく、正社員はすべて[透明性のある採用手続き](#)を経ることになっています。



グローバル雇用の構造

Item	Level	Male		Female		Other		Subtotal and Ratio	
		People	Category Percentage	People	Category Percentage	People	Category Percentage	People	Category Percentage
Position	Above Senior Manager Level	1,183	82.0%	260	18.0%	-	0.0%	1,443	22.0%
	Manager	1,361	78.8%	366	21.2%	-	0.0%	1,727	26.3%
	Senior Specialist/ Senior Engineer	1,351	69.4%	596	30.6%	1	0.1%	1,948	29.7%
	Specialist/ Engineer	680	58.8%	472	40.8%	5	0.4%	1,157	17.7%
	Other	142	50.7%	136	48.6%	2	0.7%	280	4.3%
	Total	4,717	72.0%	1,830	27.9%	8	0.1%	6,555	100.0%
Education	PhD	29	80.6%	7	19.4%	-	0.0%	36	0.5%
	Master	1,146	73.0%	423	26.9%	1	0.1%	1,570	24.0%
	Beachelor	2,020	69.4%	889	30.5%	1	0.0%	2,910	44.4%
	Other	1,522	74.6%	511	25.1%	6	0.3%	2,039	31.1%
	Total	4,717	72.0%	1,830	27.9%	8	0.1%	6,555	100.0%

新入社員

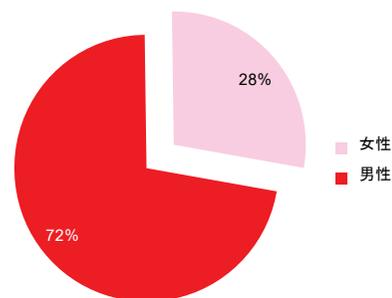
地域	新入社員	新入社員の比率	辞職	辞職率	転職
全世界	1,208	18%	1,014	15%	18%

世界的分布

トレンドマイクロでは、世界のオフィスに6,500人以上います。オフィスは、アジア太平洋地域、日本、フィリピン、ヨーロッパ、中東、アフリカ、北米、中南米にあり、男性社員4,721名(72%)、女性社員1,834名(28%)の社員が働いています。

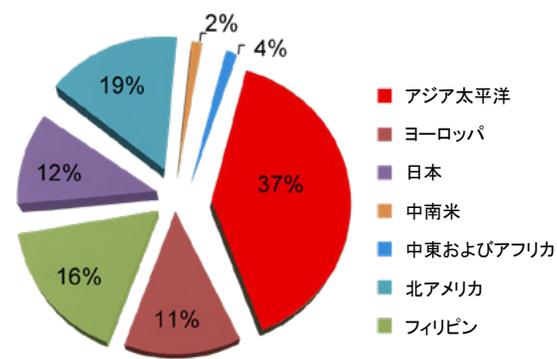
社員の男女比率

性別	社員数	比率
女性	1,834	28%
男性	4,721	72%
合計	6,555	100%



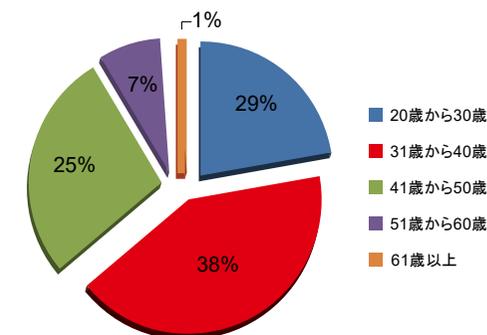
世界的分布

地域	社員数	比率
アジア太平洋	2,417	37%
ヨーロッパ	691	11%
日本	760	12%
中南米	110	2%
中東およびアフリカ	272	4%
北アメリカ	1,273	19%
フィリピン	1,032	16%
合計	6,555	100%



社員の年齢分布

年齢	社員数	比率
20 - 30	1,906	29%
31 - 40	2,477	38%
41 - 50	1,667	25%
51 - 60	446	7%
60以上	59	1%



社員の人権尊重と人権保護

トレンドマイクロは社員の労働権を大切にし、プライバシーの保護に努めています。男女平等を実現するため、セクシャルハラスメント防止を目的とする社員行動規範に方策を盛り込みました。不正行為には罰則を与えます。当社はまた、男女平等の重要性を強調し、セクシャルハラスメントを防ぐために、定期的にセミナーも開催しています。2018年、トレンドマイクロは、差別なし、児童労働なし、抑圧なしという職場環境に対する「3つのNO」を発表しました。さらに、社員の権利を保護するために人権ホットラインとメールボックスを開設しました。社員に良い職場環境を提供することは、当社にとって重要な責任であると考えています。

健全な労働環境

人事フィロソフィーに基づく制度

トレンドマイクロでは、社員の性別、宗教、人種、支持政党などは給与に影響しません。当社は包括的な報酬システムを採用し、チームへの貢献度という観点で、定期的に公平に個人の業績評価を行っています。また昇進、昇格、ボーナスを通じて社員を奨励し、社員一人一人が持つポテンシャルを最大限に発揮し、自律的に働くための、組織・人事制度を策定しています。

- ・地域社会へのリソース還元（ボランティア休暇）
- ・最優秀（MVP）賞プログラム
- ・アワード（報奨）プログラム
- ・ウェルカムバックプログラム（復職制度）
- ・副業制度
- ・社外出向制度

[詳細を確認する](#)

LOHAS(ロハス)なライフスタイル

-Lifestyles of Health and Sustainability in Trend Micro-

トレンドマイクロで働く誰もが、つながる世界全体を守るために協力し合う多様なグローバルファミリーの一員となります。トレンドマイクロでは、多様性、平等、そして協調についてのオープンな議論を促進します。当社は、情熱をもって成功を追い求める社員を評価することを信条としており、社員には「最高の自分」を見せてほしいと考えています。



柔軟で快適な職場環境

トレンドマイクロでは社員一人一人が自分らしさを発揮し、情熱的行動することで自身の持つ可能性を最大限に発揮することができる職場環境の提供・組織開発を行うために「Be the Best Part of Yourself =自分らしくある」ことが求められています。当社はドレスコードや時間に縛られず、労働時間の中で自由に働ける職場環境を展開しており、オフィスでは飲み物を片手にジーンズとカジュアルなフットウェアで歩く社員をいたるところで見かけます。仕事が楽しければ社員は課題に向き合い、変革をチャンスと捉えることができると考えています。

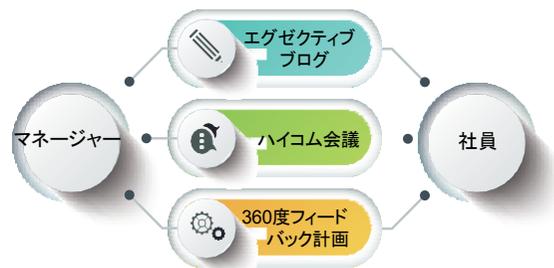
男女共同参画

トレンドマイクロでは、多様な人材を採用することでテクノロジー業界全体、特にサイバーセキュリティ分野におけるスキル格差の軽減に貢献できると考えています。当社では、女性中心のインターンプログラム、スポンサーシップ、プロフェッショナルトレーニング、社内及び社外ネットワークイベントホストの機会を提供することで、組織における女性の活躍を支援しています。公平で働きやすい職場環境を守るため、当社は男女平等を実践しています。



社内コミュニケーション

トレンドマイクロは、社員の権利を信じ、社員一人一人のコメントを大切にしています。360度フィードバックシステム、社員会議、部門間共有セッション、エグゼクティブチームによるブログなど、優れたコミュニケーションプロセスを設定しています。



ハイコム会議

経営陣と従業員による双方向のコミュニケーションにより、ビジネスチームの結束と社内の連携を効果的に構築しています。トレンドマイクロは、世界中の社員とさまざまなトピックに関するハイコム会議を定期的に行い、各自がどう考え、感じているのかを理解しています。ハイコム会議は2018年は毎四半期、2019年上半期には対面形式により2回、開催されました。

360度フィードバックサーベイ

トレンドマイクロができるだけ迅速に問題を解決するうえで、上司以外の社員同士のフィードバックが役に立ちます。当社は率直な意見を収集するために、匿名での360度フィードバックサーベイを行っています。

エグゼクティブブログ

トレンドマイクロのエグゼクティブチームは、お知らせや情報共有のために個人的なブログを書いています。そこで社員は質問し、提案することができます。



▲ ▲ 経営陣は、社員と対面してコミュニケーションをとるために、定期的にハイコムイベントを行っています。

学習と成長

トレンドマイクロは『学習する組織』を目指し、社員ひとりひとりの成長が会社の成長につながると考えており、情熱を持った社員が失敗を恐れずに、主体的に新しい挑戦することを奨励しています。そこで社員が自ら学び、成長し、その可能性を最大限に引き出すことができるよう、オリジナルのワークショップを提供しています。社員は自己開示と他者からのフィードバックにより、自分自身をより理解し、可能性を広げていくと考えています。「Be the Best Part of Yourself」を実践することで、自身の可能性を広げ他者とのコラボレーションを深め、自身の持つ可能性を最大限に発揮できるような関係・組織を目指しています。

人材開発哲学

トレンドマイクロでは社内トレーニングプログラムに冰山モデルを適用しています。冰山モデルでは個人の特性を「水面上＝目に見える特性」と「水面下＝目に見えない特性」に分類しています。

目に見える特性にはスキルや知識などのハードスキル、見えない特性には価値観や動機などのソフトスキルがあり、その両方の向上が重要と考え、トレーニングを行っています。

トレンドマイクロでは、売上成長と個人能力開発のためのトレーニングコースを提供しています。総合的教育とトレーニングマップにより、社員は個人的な目標を持って、スキルを向上させることができます。トレーニングには、技術的なワークショップや講義が含まれます。



トレンドマイクロの教育トレーニング構造



TLC
この必須コースは、社員が仕事と私生活的バランスを取り、学習能力を養うのに役立ちます。

専門スキルトレーニング
トレンド大学は、社員が仕事上のスキルを向上させるのを支援するため、専門的な技術トレーニングコースを提供しています。

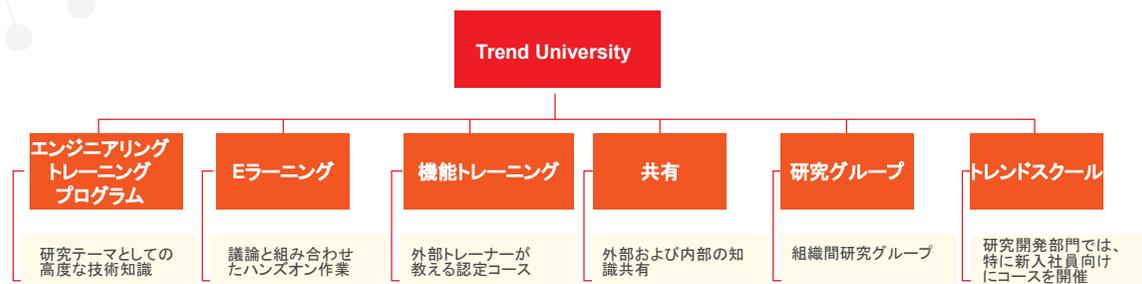
社員はすべてトレンドマイクロラーニングサークル(TLC)に参加しています。トレンドマイクロの創業者であるスティーブ・チャンは2007年にTLC1.0,2.0,3.0を開発・設計しました。

TLC 1.0は、自己理解、自己認識、学習する組織への融合を重視しています。TLC 2.0は、人間関係構築、仕事と生活のバランス、幸福な社員になることに焦点を当てています。

TLC 3.0は、創造力の向上と知識の獲得だけでなく、組織としてのアイデンティティ確立と組織に対するコミットメントも促しています。チャンは全世界のリーダーを選出し、TLCコースを教える内部ファシリテーター214人を教育し、トレンドマイクロの組織や人に対する哲学を伝え続けています。



専門スキルトレーニング



Trend Universityでは、社員が専門的に成長するのを支援するため、さまざまなチャネルを通じて技術トレーニングコースやセミナーを幅広く提供しています。

トレンドマイクロは毎年エンジニアリングデーのイベントを開催し、エンジニアが技術セミナーに参加することを奨励しています。加えて、社員が新技術や研究のブレークスルーについてさらに学ぶのを支援するため、テーマを設定した競技会を開催しています。これらのアイデアを念頭に、2018年にはAIコンテストを開催しました。

AIの波:「人が重要」—2018年AIコンテスト

グローバルテクノロジー企業が継続的に成功するには、効果的な人工知能が大変重要になりました。同時に、最近のIoTデバイスの急増により、より優れたオンラインセキュリティシステムの必要性が高まっています。こうした動きに対応して、トレンドマイクロは2018年、創業30周年となるのを記念して、社内最大の競技会「グローバルAIコンテスト」を開催しました。世界中のトレンドマイクロ社員が、職務に関係なく競技会に参加しました。大会決勝戦は福岡で行われました。挑戦者たちは、[賞を勝ち取るかとワクワクしながら、会場まで向かいました。](#)



AIコンテストでは、技術の壁を破り世界中の社員が交流を深めるために、いわゆる「革新的に遊ぶゲーム」をして、トレンドマイクロの専門家たちがAIをより理解する一助としました。

初期のラウンドで、大会参加者はさまざまな機械学習アルゴリズムを使うポーカーの「テキサスホールデム」を行いました。ディープラーニングシステムで、各チームの開発したAI機能が強化されました。福岡で開催されたAIレースカー競技会には、1,500名の参加者からなる上位300チームが参加しました。コンテストの全イベントは20週間以上にわたって開催され、社員全体の約3分の1にあたる450チームが参加しました。





お客様

情報セキュリティ環境の強化

ガートナーは、2020年までに世界の260億台のデバイスがインターネットに接続すると見積もっています。多数のデバイスが接続すると、世の中の動き方、考え方、行動の仕方は変化するでしょう。トレンドマイクロの研究、開発、サポート部門である TrendLabsは、グローバル情報セキュリティのパターンを研究し、テクニカルサポートの提供し、レポート作成を行い、さらにサイバーセキュリティの最新更新情報を世界と共有しています。トレンドマイクロは、セキュリティ問題に対してよりターゲットを絞った地域ソリューションを開発するため、階層型責任システムを考案しました。これは、当社代表取締役と地域ディレクターが世界的および地域のセキュリティインシデントのソリューションを決定し、実行するというものです。また、彼らはお客様にいつ近況報告をするかも決定しています。トレンドマイクロは、ブログやソーシャルメディアを含む多数のチャネルを利用して、お客様に絶えずセキュリティに関する最新情報をお届けしています。同時に、さまざまな脅威から防御するためのソリューションとサービスも提供しています。

GDPR情報をシームレスに共有

GDPRと略される世界で最も厳しいデータ保護規制は、欧州連合(EU)でビジネスを営んでいる企業に適用されます。GDPRは、EU市民のデータを処理する世界中の組織に、データ処理規制を見直してその情報をより安全に保護する計画を実施するよう義務づけています。GDPRではEU全体のデータ保護に関する法律が標準化され、これまで認識されていなかったデータの使用パターンも対象に含まれています。

トレンドマイクロは、GDPRによって個人の権利がどのように強化されるかを認識しています。そのうえでGDPRの要求に応じ、お客様に与える影響に備えてプログラムを導入しました。当社は、どの地域においても、常にセキュリティとデータ保護を優先しています。

トレンドマイクロはまた、社員のセキュリティ意識をさらに高めるだけでなく、お客様とのコラボレーションに取り組み、お客様を保護するためのトレーニングと啓発プログラムを開始しました。データ処理、情報保護、データ漏えい管理に関連する対策およびデータ保護責任者(DPO)の任命によって、GDPRがしっかりとシームレスに遵守されています。



Are you GDPR compliant?

Get help with state-of-the-art security solutions

Get the GDPR checklist

Get GDPR resources

意識向上と教育	データを適切に処理
<ul style="list-style-type: none"> エグゼクティブの意識向上と支援(最高財務責任者、最高情報責任者、取締役副社長兼法務担当、取締役副社長兼ヨーロッパの財務および業務担当) SEM(内容領域専門家)を採用する権限と、必要なものを適時に提供する権限がある専任プロジェクトリーダーの任命 トレンドマイクロ社員へのグローバル教育 ウェビナー、会議、および1対1の会議を通して、パートナーとお客様がGDPRとその内容について理解するよう促進。 	<ul style="list-style-type: none"> 組織全体にわたる包括的なグローバルデータマッピング演習の完了 以下の作業を確実にする 既存ポリシーとプロセスの更新: <ol style="list-style-type: none"> データのプライバシー データの保護と保存 データ使用の同意 子どものデータセキュリティ — Internet Safety for Kids program product data collection information を含む、GDPR対応製品の改訂および更新 GDPR要件に当てはまるお客様、パートナー、およびサプライヤーとの契約を最新の状態に更新
データ保護とデータ漏えいの管理	データ保護責任者(DPO)の任命
<ul style="list-style-type: none"> データ保護に関する全組織の計画的方針改訂 GDPRの72時間通知要件を反映するようデータ漏えい管理方針を更新 	<ul style="list-style-type: none"> ドイツ向けには現在の要件に従った既存の外部DPOを維持 トレンドマイクロは、新しいEUデータ保護責任者に Lianne Harcupを任命しました

[詳細を確認する](#)

サービス

トレンドマイクロには、企業から家庭、個人に至るまでさまざまなお客様がいます。グローバル脅威インテリジェンス分析と組み合わせた当社の全製品で、包括的な防御を提供しています。

企業防御のためのカスタマーサービス

トレンドマイクロは、ハイブリッドクラウドセキュリティ、ネットワークセキュリティ、ユーザー保護、IoTソリューションなど、さまざまな企業向けソリューションを提供しています。

[詳細を確認する](#)

トレンドマイクロ セキュリティエキスパートサービス

クラウド・仮想化・スマートデバイスなど多様化・複雑化するIT基盤、サイバー攻撃に象徴されるセキュリティ脅威の高度化などを背景に、企業のITセキュリティ対策にも変革が求められています。製品を導入するだけで適切なITセキュリティ対策を実現することはもはや困難であり、導入した製品を効果的に導入・運用し、保護・検知・分析・対応という一連のセキュリティライフサイクルを適切に回す運用の重要性が改めて指摘されています。トレンドマイクロでは、高度な製品知識・脅威知識を有するエンジニアが、当社製品をご利用いただくお客さまのセキュリティライフサイクルを支援する各種サービスを提供しています。

■トレンドマイクロが提供する各種サービス

構築・導入時の技術支援	プロフェッショナルサービス	弊社製品を導入し効果的な運用を実現するための技術支援を提供します。
保守・運用時のサポート	スタンダードサポート	弊社製品ご購入のお客さまにコールセンターによるサポートサービスを提供します。
	Trend Micro Priority Response Service for Enterprise	お問い合わせ内容に応じた専門性を有するエンジニアが、優先的なサポートサービスを提供します。
	Trend Micro Premium Service for Enterprise	優先的なサポートサービスに加え、お客さま担当のエンジニアがセキュリティ運用改善の支援を提供します。
海外拠点向けのサポート	グローバルサポート	弊社製品を海外拠点でご利用されるお客さまに対応したサポートサービスを提供します。

企業が直面するセキュリティ人材不足の問題を支援する

2018年、トレンドマイクロは、優れた防御力と人工知能を組み合わせることで、脅威をブロックし、大量のデータをフィルタリングするMDR(Managed Detection and Response)※1 ホストサービスを導入しました。トレンドマイクロは、潜在的なリスクを軽減し対応を自動化するために、情報がどのITレイヤーにも自由に流れるよう単一の簡単なインターフェースのAPIを作成しました。このソリューションは、情報セキュリティインシデントの分析に費やされる時間を短縮するだけでなく、組織全体への負荷も軽減します。これにより、企業はより正確なセキュリティ保護メカニズムを備えたセキュリティオペレーションセンター(SOC)を設置できます。そして、予めセキュリティ脅威を対応し、効率的に攻撃へ対応し、迅速に反応することができます。万が一、ウイルスのアウトブレイクが発生した場合、トレンドマイクロは被害を最小限に抑えるよう迅速に対応します。実際、当社は、製品ライン全体にAI機能を組み込み、SOCが脅威への警告を正しく分類できるようにしています。このアプローチは、現在の企業が直面しているセキュリティ人材不足と世界的なネットワークセキュリティ専門家の不足を支援します。

※1 MDR(Managed Detection and Response)について、日本ではまだ正式に導入されていません。

Managed Detection and Response (MDR)

トレンドマイクロは、このサービスでお客様に高度な脅威追跡機能を提供しています。統合エンドポイントソリューションを展開することで、システムレベルのアクティビティを記録することができます。トレンドマイクロは、これらの記録を継続的に受け取り、サービスに活用しています。

- ・ 継続的な監視とアラートの調査
- ・ 人工知能と特許技術を駆使して攻撃の可能性を特定する、イベント、アラート、ネットワークデータ間の強力な相関関係
- ・ 進化するゼロデイ脅威を動的に検証するために、必要に応じたプロアクティブな脅威ハンティング
- ・ インシデントの重大性を判断し、実行可能な修復計画を作成するために行う、経験豊富なセキュリティ専門家による高度な脅威に関する調査
- ・ 攻撃がどのように始まり広がったかを説明する根本原因と影響を受けたデバイスのインベントリーを分析

緊急オンサイトサービス

状況によっては、セキュリティの専門家が直接お客様を支援する必要があります。そこでトレンドマイクロは、お客様のもとへ訪問し迅速な修理サービスを提供します。専門家が、速やかにお客様の職場へ向かい、緊急事態に対処します。

プロアクティブなサービス

リアクティブな保護システムでは昨今のオンライン攻撃を防ぐことができないため、攻撃が発生し際に、トレンドマイクロはお客様に「重大なセキュリティ脅威」と「広範囲にわたるウイルス警告」のアラートを表示します。

トレンドマイクロは、複数のチャンネル(電子メールメッセージ、テキストメッセージ、電話など)を通じて、攻撃を受けているお客様と連絡を取り、これらの警告をトレンドマイクロ側で受け取っていることを確認します。企業はトレンドマイクロからの通知に従ってすぐに対応することができます。トレンドマイクロの優れたデータ収集と分析能力により、企業は情報セキュリティの被害を効果的に防ぎ、壊滅的な損失を回避することができます。

専門トレーニング

トレンドマイクロは、包括的なプロフェッショナルトレーニングを提供しています。悪意あるソフトウェアを防御する方法についてお客様がより深く理解するのを支援し、製品のインストールと導入をサポートしています。

個人のお客様向けサービス

デジタルライフサポート プレミアム

ソフトウェアの設定、コンピュータのアップグレード、製品のトラブルシューティング、モバイルデバイスのバックアップでお困りのお客様は、トレンドマイクロの専任スタッフに連絡してアドバイスやサポートを受けることができます。

コミュニケーションチャンネル



ビジネスサポートポータル

こちらをご覧ください

	オープンケース	自分	会社
製品に関する問い合わせ		1	298
脅威に関する問い合わせ		1	240
サポート契約内容の表示			

注目のソリューション

JavaScript ファイルが検索され?

Apex One/ウイルスバスター...
[用編]

トレンドマイクロでは、当ブランドの評判はお客様とステークホルダーからの信頼に左右されると固く信じています。そして、多様な意見を聞きフィードバックを集めるからこそ、改善されると考えています。

トレンドマイクロは、ソーシャルメディアを幅広く活用しています。

また、電話、メールメッセージ、会議、オンラインセミナーを通じてお客様と対話し、トレンドマイクロの価値、ビジョン、方針を伝えています。

トレンドマイクロ公式サイト

トレンドマイクロの公式サイトでは、お客様が迅速に問題を解決できるように、製品とソリューションに関する包括的な情報を提供しています。また、サイバーセキュリティに関する脅威情報も紹介し、当社公式サイト訪問者が脅威から自身の身を守るために支援しています。

ブログ

トレンドマイクロは、さまざまなブログを運営しています。「[Simply Security Blog](#)」では、サイバーセキュリティ最高責任者Ed Cabrera、セキュリティリサーチ担当副社長Rik Ferguson、そしてその他の情報セキュリティ専門家がクラウドコンピューティングとセキュリティ、ウイルス開発の最新情報、モバイルセキュリティの傾向について紹介しています。その他に、「[Security News](#)」と「[Security Intelligence](#)」というブログを運営しています。このブログでは、ランサムウェア、オペレーティングシステムの脆弱性、標的型攻撃、IoTセキュリティ、およびモバイルセキュリティ保護に関する情報を共有しています。
※日本語版セキュリティブログはこちら「[セキュリティブログ](#)」



「[Internet Safety for Kids & Families](#)」ブログでは、子どもと保護者向けにセキュリティ教育情報を発信しています。

プライバシー保護

トレンドマイクロは、個人顧客データの紛失、盗難、誤用、開示、変更、または破壊を防止するための対策を実施しています。当社は、さまざまな地域の個人情報保護法に従い、明確な顧客プライバシーポリシーを策定しています。

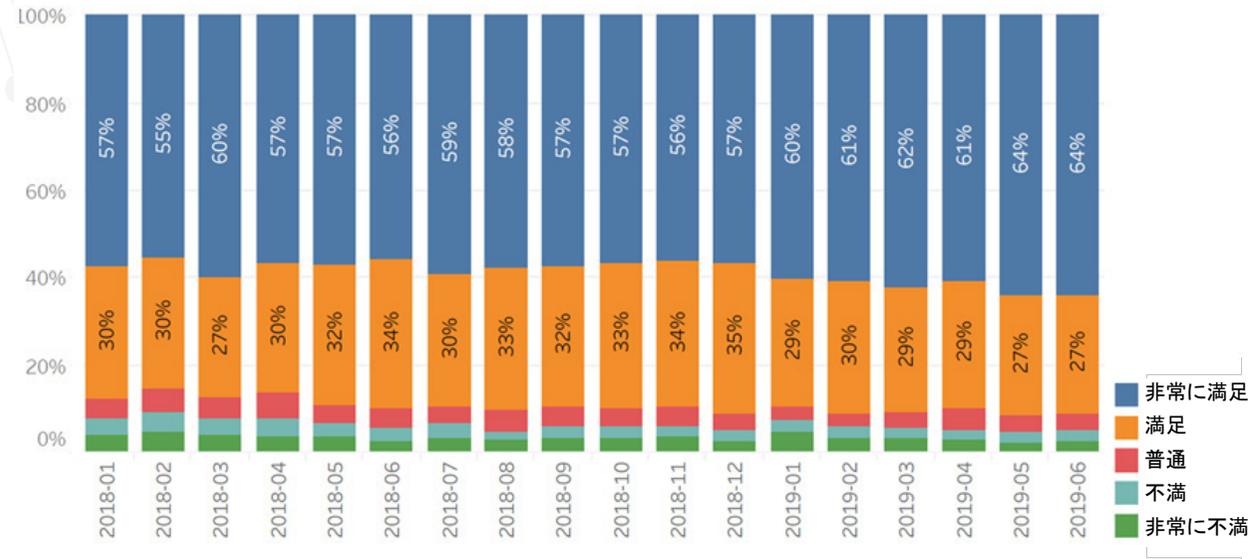
[詳細を確認する](#)



顧客満足度調査

トレンドマイクロでは、サービス品質を測定し、当社の高い水準を保つために、毎月、顧客満足度調査を実施しています。2018年1月から2019年6月までの調査結果によると、85%以上のお客様から当社のサービスに対し「満足」の評価をいただきました。これらの優れた結果を頂いても尚、トレンドマイクロのカスタマーサービスマネージャーは不満のあるお客様に対し、問題の原因を特定し、改善するための探求を止めません。当社は、お客様からのフィードバックやご提案について、学びがある貴重な意見だと考えます。本調査結果をモチベーションとし、サービス品質を改善し、優れたものにするよう継続的に努力します。

グローバル顧客満足度調査



グローバル シチズンシップ プロジェクト



トレンドマイクロはグローバル企業であり市民の一員として、世界をより良くするための社員参加型の活動を2008年より「グローバル シチズンシップ プログラム」として実施しています。前年のGAAP利益の1%を資金としてプログラムに活用し、フィリピンでの恵まれない環境の人々への家屋の建設や、自然災害に対する社員の募金活動など、グローバルコミュニティに貢献しています。



社会活動

https://www.trendmicro.com/ja_jp/about/corporate-social-responsibility/philanthropy.html

Give and Match Program

結果

2018年以降:

- ・ 14,000人以上の社員が参加
- ・ 総額4,450,000ドル以上を集める
- ・ 34の自然災害に対応して120以上の非営利団体に資金を提供

トレンドマイクロでは世界中の社員から寄付金や義捐金を募り、寄せられた金額に会社が同額を拠出して寄付を行うことで、支援を最大化しています。トレンドマイクロは毎年社員から寄付先の非営利団体を募り、Give and Match Programを実施しています。寄付先はデジタルギャップ・教育・環境・被災地など恵まれないさまざまなコミュニティを支援している非営利団体となります。Give and Match Programは、トレンドマイクロの社員がグローバル社会の一員として、「社会課題」に関心をもち、この活動を通して世界をより良い方向へ変えられるようサポートしています。

4分の1を超えるトレンドマイクロ社員がGive and Match Programに参加しています。

2018年自然災害募金

出来事	贈与者数	寄付額 (米ドル)		
		社員による金額	トレンドマイクロ1対1マッチング	合計
オーストラリアの干ばつ救済	59	5,800	5,800	11,600
ラオスの洪水救済	19	1,276	1,276	2,552
インド、ケララ州の洪水救済	21	1,364	1,364	2,728
インドネシア、スラウェシ島の津波救済	48	2,597	2,597	5,194
合計	147	11,037	11,037	22,074

2018年地域別寄付

出来事	贈与者数	寄付額 (米ドル)		
		社員による金額	トレンドマイクロ1対1マッチング	合計
SKO (Sales Kick Off)	438	26,277	26,277	52,554
西日本(四国・中国エリア)豪雨災害	140	8,288	8,288	16,576
北海道胆振東部地震	103	4,846	4,846	9,692
Home of Hope(子ども救済NPO)のためのサイクリングチャレンジ	40	4,030	4,030	8,060
World Vision(人道支援NGO)	5	1,288	-	1,288
Fisher House(慈善団体)	15	1,150	1,150	2,300
Peach's Neet Feet(病気の子どもと家族のためのNPO)	64	6,730	6,730	13,460
Jake's Heart(慈善団体)	13	5,881	5,881	11,762

出来事	贈与者数	寄付額(米ドル)		
		社員による金額	トレンドマイクロ1対1マッチング	合計
The Royal Ottawa Foundation (精神障害を持つ人々をサポートする財団法人): 青少年プログラム	51	21,211	21,211	42,422
Inghelburch (ベルギーのブルージュにある医療センター)	11	2,613	2,613	5,226
国連難民高等弁務官事務所	231	1,549	1,549	3,098
Arocha (キリスト教系環境管理団体)	2	81	-	81
Stichting ALS Nederland (非営利団体)	20	655	655	1,310
赤十字国際委員会	13	757	757	1,514
Vessels of Humanity Foundation (非営利団体)	19	456	-	456
MBY Pet Rescue and Sanctuary (動物愛護団体)	12	342	-	342
Aeta Children's Home (キリスト教系子ども救済団体)	9	277	-	277
The Child Haus (生活困窮者向けホスピス運営団体)	26	1,378	1,378	2,756
合計	1,212	87,809	85,365	173,174

年間寄付統計

年	地域数	出来事	贈与者数	寄付額(米ドル)		
				社員による金額	トレンドマイクロ1対1マッチング	合計
2008	5	2	1,206	142,224	142,224	656,788
2009	6	4	1,437	196,251	196,113	649,569
2010	3	5	505	48,413	48,413	96,826
2011	12	4	1,955	322,709	321,471	1,184,251
2012	20	3	870	61,925	59,388	121,313

年	地域数	出来事	贈与者数	寄付額(米ドル)		
				社員による金額	トレンドマイクロ1対1マッチング	合計
2013	11	3	1,481	150,223	148,502	519,639
2014	17	2	846	91,240	90,120	181,360
2015	12	2	1,592	140,454	140,443	280,897
2016	21	4	2,162	214,902	190,108	405,010
2017	15	5	1,171	89,560	89,281	178,842
2018	18	4	1,359	98,846	96,402	195,248
合計	140	38	14,584	1,556,747	1,522,465	4,469,743

Home Building Program

結果

- ・ 700人を超える参加者
- ・ 北米、ヨーロッパ、日本などの社員が参加
- ・ 16の異なるコミュニティで250以上の家屋建設を支援
- ・ 1,700世帯、2,800人を超える子どもたちを支援

このプログラムはフィリピンの恵まれない環境にある家族が、より良い未来を築けるよう支援する活動です。2008年以降、世界中のトレンドマイクロの社員がフィリピンに5日間滞在し、恵まれない環境にある家族のために家屋を建設しています。

ヨーロッパ、米国、アジアなど700人を超えるトレンドマイクロの社員が参加し、16以上の異なるコミュニティで250もの家屋を建設し、1,700世帯、2,800人を超える子どもたちを支援しました。

[詳細を確認する](#)

トレンドマイクロの地域別参加者

年	ヨーロッパ、 中東、アフ リカ	北米、 中南米	アジア太平洋、 オーストラリア、 ニュージーラン ド	日本	フィリピン	参加者 総数
2008	21	6	14	11	25	77
2009	5	3	5	7	12	32
2010	19	5	4	12	30	70
2011	12	5	13	9	28	67
2012	7	6	24	12	24	73
2013	14	2	15	16	23	70
2014	12	4	18	14	22	70
2015	8	7	14	9	23	61
2016	11	4	19	12	23	69
2017	12	7	20	10	21	70
2018	12	3	7	6	36	64
2019 (5月時点)	-	2	8	2	10	22
合計	133	54	161	120	277	745

支援を受けた世帯および子どもの総数

GK Villageの名称	世帯数	子ども数
MJR	21	63
Bermuda, Kalayaan	22	61
Gloria, Bermuda	12	30
Kalayaan	18	64
Jose Rizal	445	650
Bagong Silang	450	800



GK Villageの名称	世帯数	子ども数
USA Hope	55	220
Canossa	45	40
Silver Heights	75	200
Toyota	160	150
Bayanihan	126	100
GK Escopa	67	100
St Joseph	52	110
Munting Pamayanan	72	80
Dasmarinas	85	100
Sapang Maragul	67	106
Munting Paraiso	51	150
GK Victoria	35	60
合計	1,858	3,084

建設家屋数

年	期間	建設地域	建場所設	建設家屋数
2008	4/21-25	MJR	Batangas	5
	9/15-19	Bermuda, Kalayaan		17
	11/10-14	Gloria, Bermuda		4
	11/24-28	Bermuda		
2009	3/2-6	Jose Rizal	Laguna	33
	5/25-29			
2010	4/12-16	Jose Rizal	Laguna	10
	5/24-28			10
		11/15-19	Bagong Silang	Caloocan

年	期間	建設地域	建設場所	建設家屋数
2011	5/16-20	USA Hope	Caloocan	5
	10/10-14	Canossa	Laguna	3
	11/14-18	Jose Rizal	Laguna	10
2012	4/16-20	Jose Rizal	Laguna	5
	10/15-19	Silver Heights	Caloocan	8
11/12-16				
2013	4/15-19	Toyota-Sta.Rosa	Laguna	25
	10/21-25			
	11/18-22			
2014	5/19-23	Jose Rizal	Laguna	10
	10/27-31	Bayanihan	Cavite	10
	11/17-21			
2015	5/11-15	Escopa	Quezon City	5
	10/26-30	Toyota-Sta.Rosa	Laguna	1
	11/30 -12/4	St Joseph	Nueva Ecija	10
2016	5/16-20	St Joseph	Nueva Ecija	3
	10/3-7	Munting Pamayanan	Quezon City	18
	11/14-18	Munting Pamayanan	Quezon City	
2017	5/22-26	Dasmarinas	Cavite	6
	10/16-20	Dasmarinas	Cavite	12
	11/13-17	Sapang Maragul	Tarlac	10
2018	4/16-20	Sapang Maragul	Tarlac	5
	10/1-5	Munting Paraiso	Cavite	20
	11/12-16			
2019	5/22-26	GK Victoria	Tarlac	10
合計				285

未来を創る「Annual Service Project」

結果

- ・ 毎年最大700人のトレンドメンバーが参加
- ・ これまでのボランティア時間は15,000時間以上

2013年より、トレンドマイクロは未来を創造する支援として、毎年本プロジェクトを推進しています。子どもたちは、未来を創る次世代のリーダーであり、クリエイターであり、またイノベーターでもあります。トレンドマイクロは子どもたちが自身の可能性を最大限に発揮できるようになるために、教育や成功体験を学ぶ場としての教育施設の改善をサポートしています。

[社会への還元 — 未来を築く](#) 

子どもと保護者向けセキュリティ教育



Internet Safety for Kids and Families

子どもの安全なインターネット利用を支援するセキュリティ教育プログラム「Internet Safety for Kids and Families」では、子どもとその保護者の方々にインターネット利用に潜む最新の脅威やモラルについて、学び・考える機会を提供しています。

これまで世界中の150万人を超える子どもとその保護者に対して、900人を超えるトレンドマイクロの社員がボランティアでセキュリティ教育を行ってきました。

結果

- ・ 336,118人の学生を支援
- ・ 1,476,752人の保護者と交流
- ・ 18,560のイベントを開始
- ・ 966人のボランティアが参加
- ・ 18,711校が参加

トレンドマイクロは、ブログやソーシャルメディアを使ってセキュリティ情報を広めると共に、全国の小・中・高校へトレンドマイクロ社員がセキュリティ講師として出向き、セキュリティ授業を開催しています。

また、ポスターや動画の制作を通じてセキュリティの大切さを学ぶ「What's Your Story」セキュリティコンテストを開催し、啓発活動を行っています。

[詳細を確認する](#)



大学向けサイバーセキュリティ教育(CEU)

結果

- ・2018年以降、トレンドマイクロは世界中で50以上の大学をサポートしてきました。
- ・南北アメリカとアジア太平洋地域にある20以上の大学が、引き続きパートナーとして活動しています。
- ・南北アメリカでは、当社の社員が、脅威防御について10を超えるワークショップを運営しています。
- ・トレンドマイクロは、サイバー脅威監視および検出デバイスを8台、世界に寄付しました。
- ・1,000人を超える大学教育者と大学管理者がこのプログラムに参加しています。

脅威が増大するにつれて、熟練したサイバーセキュリティ専門家の不足が目立っています。トレンドマイクロは、大学向けのサイバーセキュリティ教育(CEU)プログラムを立ち上げました。制限を受けずに高等教育機関と専門知識を共有し、学生への教育を支援するためです。学校と協力し、サイバーセキュリティプログラムへガイダンス、専門知識、サポートを惜みなく提供して、専門家不足を解消できるよう支援しています。このプログラムは北米で始まりましたが、当社の社員は現在、ブラジル、サウジアラビア、シンガポール、ニュージーランド、オーストラリアでも学生を支援しています。 [詳細を確認する](#)

情報セキュリティプログラムのカリキュラム

- サイバーセキュリティ教育プログラムによる大学支援
- 非営利団体や政府機関との協力による学校支援
- 地域のトレンドマイクロボランティアのスキル活用

	トピック1	サイバーセキュリティの概要
	トピック2	脅威の状況と影響
	トピック3	暗号化の概念
	トピック4	従来のセキュリティ脅威
	トピック5	標的型攻撃、情報盗難、ランサムウェア
	トピック6	ハッキングの解剖学
	トピック7	ソフトウェアプログラムのセキュリティと侵入テスト
	トピック8	ネットワークセキュリティとファイアウォール
	トピック9	セキュリティ情報とイベント管理
	トピック10	インシデント対応
	トピック11	サイバーセキュリティの多層防御
	トピック12	関連する法律、規制、コンプライアンス、調査

カリキュラムデザイン



- 専門的なアドバイス
- ハンズオン学習
- 関連講義
- マルチメディア学習

専門的に関与

参加大学



L4: 研究プロジェクト

カリキュラム支援

L3: 配信、講師

大学のクラウドラボ(フィリピンのパイロットプログラム)

L2: 学科の最適化に向けたワークショップもしくはウェビナー
ハードウェアの寄付

サイバーセキュリティに関する進路相談とウェビナー

L1: 技術的または専門的な共有



Internet Safety for Small Businesses (ISSB)

トレンドマイクロは、デジタル世界における中小企業経営者とその従業員の安全性を向上させるため、2017年11月にこのプログラムを立ち上げました。中小企業がリスク認識を高め、使いやすいリソースを使用してオンラインに潜む脅威の防御に積極的に取り組むことを支援をしています。

また、トレンドマイクロの専門家ボランティアは、中小企業の事業が軌道に乗るのを支援するため、National Cyber Security Allianceおよび非営利団体SCOREと提携しています。このISSBプログラムは、中小企業のオンラインでの安全性維持に特化した非営利団体のイベントやプロジェクトの後援もしています。

[詳細を確認する](#)



地域に根差した活動

STEM(科学・技術・工学・数学)教育 – 台湾

結果

2016年以降:

- ・ 100名以上の教師が認定される
- ・ 15校で300人以上の生徒が訓練を受ける

台湾では子供たちの未来がより明るいものにつながる機会として、Scratchを使ったプログラミング、3Dプリンティング、自動運転車、ロボット工学などに関し、想像力を刺激し、楽しく学ぶことができる講座を提供しています。また、より良い教育を提供するためには、地元の学校の先生による継続的なサポートが必要であると考え、STEM教育に関するカリキュラム作成のサポートトレーニングを教員向けに実施しています。

2016年以降、100人以上の教員および15の学校の300人以上の学生がトレーニングを修了しました。

結果

- ・ 2017年以降、トレンドマイクロとNCSAはワークショップ4つとウェビナー3つを運営し、15,000以上の中小企業にメールマガジン配信と直接後方支援をしました。30,000人を超える訪問者がイベントのウェブサイトとメールマガジンにアクセスしています。
- ・ トレンドマイクロとSCOREは、グラフィック、eガイドブック、ワークショップ、ウェビナーをつくるために提携し、2018年には3,000社を超えるアメリカとカナダの中小企業を支援しました。
- ・ ワorkshopやウェビナー参加者の98%以上が、他の人にも勧めると言っています。
- ・ ウェビナー参加者の96%が、新しい、役に立つ知識を学んだと報告しています。

ユーザ参加型インターネットセキュリティコンテスト「What's Your Story?」

結果

- ・ 世界中で20,000人を超える参加者
- ・ 15カ国からの出場者



本コンテストは子どもが被害を受ける可能性のあるインターネット上のサイバー犯罪、スマホやネット上のトラブルについて、作品制作を通じてセキュリティの大切さを学ぶと同時に、作品の視聴・閲覧を通じてより多くの人にスマホやネット上で遭遇する危険について理解いただくことを目的としたユーザ参加型のインターネットセキュリティコンテストです。

日本、アメリカ、カナダ、オーストラリア、アイルランドなどグローバル全体で開催しています。[詳細を確認する](#)

スマイルプロジェクト — 日本

トレンドマイクロでは、被災地域の復興活動に迅速かつ継続的に貢献できる活動を行っています。東日本大震災の直後に、社員のアイデアにより、被災地の方々に笑顔の輪を広げることを目的とした「スマイルプロジェクト」を発足しました。搜索活動や漁業、植樹に関わるボランティアなど被災地の復興状況に応じた活動と、トレンドマイクロの事業活動を活かしたインターネット教室などを実施しており、現在も継続的に支援活動を行っています。また近年では、プログラムを拡大し、2016年の熊本地震、2017年の九州北部豪雨、2018年の西日本豪雨など、自然災害が発生した日本の多くの地域でも活動を行っています。2020年には、コロナウイルスの影響を受けた経済的に支援の必要な子供達に、支援の必要な飲食店を繋ぎ、お弁当の配布を行いました。

有志の社員が支援活動を実施しており、2020年6月現在、全49回、延べ610人以上の社員が支援活動に参加しています。



Click Right! — フィリピン

結果

2013年以降:

- ・ 6,000人を超える参加者
- ・ 1,400以上のエントリー

フィリピンでの新たな取り組みとして始まったClick Right!では、今日の若者が直面しているインターネットの安全性とサイバーセキュリティ上の懸念について、親、子ども、教育者、保護者を啓発しています。プロジェクトには、ソーシャルメディアの使用上の注意喚起や、フィリピン全国の学校や子供たちが頻りに訪れる場所で開催される巡回教室、「What's Your Story?」アートキャラバンなどがあります。毎年恒例のアート大会では、責任あるインターネット利用について子どもたちが声をあげ、他の子どもたちに影響を与えることを奨励しています。

サイバー犯罪の撲滅に向けて

トレンドマイクロが独自の調査・解析・研究で得た脅威の情報を、広く一般に公開し、社会の安全に貢献すると共に、情報セキュリティの専門家として、FBIやインタポールなどの法執行機関や国際組織と連携し、社会に潜むサイバー犯罪の撲滅を推進しています。

[詳細を確認する](#)



年	協力機関	結果
2015	INTERPOL	巨大ボットネットの撲滅に協力
	FBI	Esthost(Rove digital)ハッカーグループを解散
	FBI	複数のDRIDEX ボットネットで使用されるコマンドおよび制御(C&C)システムの追跡に助力
	NCA	悪質なRefud.meとCryptex Rebornのサービスをシャットダウン
2016	INTERPOL	ナイジェリアのサイバー犯罪グループのリーダー逮捕に助力
	台湾内政部警政署刑事警察局	IMSVA MailGuard機能(SNAP)の検出機能を使用して、進行中だった電子メール詐欺事件を食い止める
2017	ユーロポール FBI ドイツ警察	Avalancheと呼ばれる国際的なサイバー犯罪組織を発見
	ユーロポール	ハッカーがATMを攻撃する方法を示しながら、悪質なATMソフトウェアの現状とソースに関する研究レポートを共同発表
2018	FBI	Scan4Youハッカーの逮捕と有罪判決に助力



Appendix: GRI Standards Cross-Reference Chapter Table

GRI General Disclosure 2016				
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
組織のプロフィール	102-1	組織の名称	01トレンドマイクロについて —トレンドマイクロについて	
	102-2	活動、ブランド、製品、サービス	01トレンドマイクロについて — マネジメント	
	102-3	本社の所在地	01トレンドマイクロについて —トレンドマイクロについて	
	102-4	事業所の所在地	01トレンドマイクロについて —トレンドマイクロについて	
	102-5	知的財産および法	01トレンドマイクロについて — マネジメント	
	102-6	市場サービス	01トレンドマイクロについて — マネジメント	
	102-7	組織	01トレンドマイクロについて — マネジメント	
	102-8	従業員およびその他の労働者に関する情報	03 社員—透明な採用手続き	
	102-10	組織に関する重大な変化		情報セキュリティ技術に重点を置いているため、当社にはサプライチェーンがありません。
	102-12	サプライチェーン	05 グローバル シチズンシップ プログラム—サイバー犯罪との闘い	
戦略	102-14	外部イニシアティブ	レポートについて	

GRI General Disclosure 2016				
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
倫理と誠実性	102-16	価値観、理念、行動基準・規範	01トレンドマイクロについて — マネジメント	
	102-41	団体協定		当社には労働組合はありません。
運営レポート	102-42	ステークホルダーの特定および選定	02 サステナブルな開発 — ステークホルダーと重要課題への対応	
	102-43	ステークホルダーとのコミュニケーションの手法	02 サステナブルな開発 — ステークホルダーとのコミュニケーション	
	102-44	提起される重要な項目および概念	02 サステナブルな開発 — ステークホルダーとのコミュニケーション	
	102-45	連結財務諸表	01トレンドマイクロについて — 事業運営	
	102-46	報告書の内容および項目の該当範囲の確定	レポートについて	
	102-47	マテリアルな項目のリスト	レポートについて	
	102-48	情報の再記述	レポートについて	
	102-49	報告における変更	レポートについて	
	102-50	報告期間	レポートについて	
	102-51	前回発行した報告書の日付	レポートについて	
102-52	報告サイクル	レポートについて		
102-53	報告書に関する質問の窓口	レポートについて		
102-54	GRIスタンダードに準拠した報告	レポートについて		

GRI General Disclosure 2016				
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
運営レポート	102-55	GRI内容索引	付録1	
	102-56	外部保証	レポートについて	
	102-53	報告書に関する質問の窓口	レポートについて	
	102-54	GRIスタンダードに準拠した報告	レポートについて	
	102-55	GRI内容索引	付録1	
	102-56	外部保証	レポートについて	
	102-53	報告書に関する質問の窓口	レポートについて	
	102-54	GRIスタンダードに準拠した報告	レポートについて	
	102-55	GRI内容索引	付録1	
	102-56	外部保証	レポートについて	
運營業績				
GRI 102: Managing Principles 2016				
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
経営理念	103-1	重要な項目とその該当範囲の説明	02 持続可能な開発 — 重要課題の意義	
	103-2	マネジメント手法とその焦点	01トレンドマイクロについて — 事業運営	
	103-3	マネジメント手法の評価	01トレンドマイクロについて — 事業運営	

GRI 200: Special Topic Disclosures - Economics 2016				
経済パフォーマンス	201-1	創出、分配した直接的経済価値	01トレンドマイクロについて — 事業運営	
	201-2	気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会		当社は主に気候変動の環境問題にほとんど影響を与えない情報セキュリティ技術に焦点を当てているため、レポートには気候変動のリスク評価や特定を含みません。
	201-3	確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度	03 社員 — 給与体系と退職制度	
製品技術研究開発				
GRI 103: Managing Principles 2016				
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
経営理念	103-1	重要な項目とその該当範囲の説明	02 持続可能な開発—重要課題の意義	
	103-2	マネジメント手法とその焦点	01トレンドマイクロについて — ソリューション トレンドマイクロについて — IoTセキュリティ	
	103-3	マネジメント手法の評価	01トレンドマイクロについて — ソリューション トレンドマイクロについて — IoTセキュリティ	

知的財産保護

GRI 103: Managing Principles 2016

開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
経営理念	103-1	重要な項目とその該当範囲の説明	02 持続可能な開発 — トrendマイクロとSDGの関係	
	103-2	マネジメント手法とその焦点	04 お客様 — 情報セキュリティ環境の強化	
	103-3	マネジメント手法の評価	04 お客様 — 情報セキュリティ環境の強化	

製品サービスと顧客関係

GRI 103: Managing Principles 2016

開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
経営理念	103-1	重要な項目とその該当範囲の説明	02 持続可能な開発 — トrendマイクロとSDGの関係	
	103-2	マネジメント手法とその焦点	04 お客様	
	103-3	マネジメント手法の評価	04 お客様	

多様なキャリア成長とトレーニング

GRI 103: Managing Principles 2016

開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
経営理念	103-1	重要な項目とその該当範囲の説明	02 持続可能な開発 — トrendマイクロとSDGの関係	
	103-2	マネジメント手法とその焦点	03 社員 — 学習と成長	
	103-3	マネジメント手法の評価	03 社員 — 学習と成長	

GRI 400: Specific Topic Disclosures - Society 2016

研修と教育	404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	03 社員 — 学習と成長	
-------	-------	---------------------------	---------------	--

社員の仕事と生活のバランス

GRI 103: Managing Principles 2016

開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
経営理念	103-1	重要な項目とその該当範囲の説明	02 持続可能な開発 — トrendマイクロとSDGの関係	
	103-2	マネジメント手法とその焦点	03 社員 — 健全な労働環境	
	103-3	マネジメント手法の評価	03 社員 — 健全な労働環境	